

科目名	社会福祉	対象学年・時期	2年 前期
講師	非常勤講師	単位数・時間数	2単位 30時間
授業概要	<p>社会保障や社会福祉の各制度は、制度別に医療・福祉などのサービスをバラバラに行い、専門職の側が一方的に守備範囲と内容を決めてサービスを提唱してきた経緯がある。しかし、1人の人間というトータルな存在である対象のために、それぞれの専門職が連携し対象を総合的に支えていくべきだとの認識が高まってきた。2010年にはWHOが多職種連携について、「保健・医療における多職種連携は、異なった職業的背景をもった複数の人びとが患者やその家族、サービス提供者や地域と一緒にあってそれぞれの枠組みを超えて最高のサービスを包括的に提供するところに存在するものである」と述べており、健康と暮らしを支えるための様々な社会資源活用についての理解は重要である。</p> <p>社会保障・社会福祉の基本的概念と社会資源について理解し、これからの看護職者に求められる「地域で多職種と協働する能力」を培うための基礎的知識を身につけることをねらいとして科目設定する。</p>		
授業形態	講義		
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会福祉・社会保障の必要性がわかる 2. 看護者が社会福祉・社会保障を学ぶ意義がわかる 3. 社会福祉のしくみ、実践方法について理解できる 4. ライフサイクル別に見た諸制度について理解できる 5. 生活保護・社会保険制度について理解できる 		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 現代社会と社会保障・社会福祉-看護者が社会福祉・社会保障を学ぶ意義 2. 社会保障・社会福祉の概要と歴史 3. 社会福祉のしくみ 4. 社会福祉実践 5. 子ども・家庭の福祉 6. 障害児・者の福祉 7. 高齢者の福祉 8. 公的扶助-生活保護と生活困窮者対策 9. 医療保険制度 10. 介護保険制度 11. 年金制度と労働保険（雇用保険と労働者災害補償保険） 12. 地域福祉と地域保活ケアシステムー連携の必要性 13. 生活と福祉①ー地域で生活すること 14. 生活と福祉②-事例に学ぶ 		
使用テキスト	ナーシンググラフィカ 健康支援と社会保障③ 社会福祉と社会保障 第7版 増田雅暢著 メディカ出版		
事前学習・事後学習			
評価基準と評価方法	筆記試験		
備考			